

## 平成26年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成25年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ウィザス

コード番号 9696 URL <http://www.with-us.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 生駒 富男

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 井尻 芳晃

TEL 06-6264-4202

四半期報告書提出予定日 平成25年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	2,864	9.2	652		654		453	
25年3月期第1四半期	3,153	3.2	603		606		253	

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 448百万円 ( %) 25年3月期第1四半期 384百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第1四半期	45.08	
25年3月期第1四半期	25.18	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年3月期第1四半期	13,417	3,787	26.6	354.72
25年3月期	13,495	4,329	30.4	407.86

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 3,566百万円 25年3月期 4,101百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期		7.50		8.00	15.50
26年3月期					
26年3月期(予想)		5.50		8.00	13.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	15,677	0.3	804	189.2	820	246.0	168		16.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	10,440,000 株	25年3月期	10,440,000 株
期末自己株式数	26年3月期1Q	384,058 株	25年3月期	384,058 株
期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	10,055,942 株	25年3月期1Q	10,055,980 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、本資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政権交代後の経済政策に対する期待感から、円安基調への転換や株価の上昇など、景気の先行きに明るい兆しが見られるものの、企業の設備投資、個人消費、雇用水準などへの本格的な波及にまでは至らない状況で推移しました。

当業界におきましても、消費者の生活防衛意識による節約志向・低価格志向は根強く、生徒獲得に向けたサービス間競争が強まるとともに、業界再編や新分野からの参入も顕著になっております。

一方で、昨今の経済情勢の変動に伴うグローバル化の進展や科学技術の進展を背景に、今後の基礎教育における外国語教育・理数教育を中心とした学力向上施策は更に強まるとともに、ICTを活用した新たな教育ニーズを生む可能性が広がってきております。また、教育資金の一括贈与に係る贈与税の非課税制度の開始など、当業界におけるマーケットの拡大が期待される状況にあります。

これらの状況を踏まえ、学習塾事業におきましては、授業品質向上のための研修強化、教員ランク制の導入、マイスター講師の授業WEB化等による顧客満足度向上施策とともに、小学生向けオンライン英会話レッスン“OPEN THE WINDOW”、ご家庭に居ながらにして塾の授業が受けられる「スクールZ」の全国展開、実験・体験を主眼とした理科実験専門校(サイエンティストスクール)の開校等、教育サービス業としての基礎基本を重視しながら、新たな教育ニーズへの対応も進めてまいりました。

高校・キャリア支援事業におきましては、顧客ニーズの変遷に伴い、商品ラインを再構築しており、従来の高認・サポート校中心のサービス提供から通信制高校を主体としたサービス展開へ当期より本格的に転換しております。

また、高校とキャリア支援の授業時間帯を、従来の同時間帯並行運営から、土日・夜間を活用した2回転シフトに変更し、適切な校舎面積と要員数へ転換するため、移転・減床を順次進めております。

その他につきましては、速読を中心とした能力開発の推進と、ICT教育プラットフォームの提供を本格的に展開してまいりました。

以上の結果として、当第1四半期連結累計期間における連結業績につきましては、売上高は28億64百万円(前年同期比9.2%減)、営業損失は6億52百万円(前年同期は営業損失6億3百万円)、経常損失は6億54百万円(前年同期は経常損失6億6百万円)、四半期純損失は4億53百万円(前年同期は四半期純損失2億53百万円)となりました。

なお、当社グループの収益構造は、新年度開始となる4月の生徒数が通期で最も少なく、その後増加していくことや夏・冬・春の季節講習会時に売上高が通常月以上に増加することに加え、第1四半期は固定費や広告宣伝費の先行投資の費用が発生するため、季節的な収益変動要因があります。

当期につきましては、前述の施策の効果が下期に反映される計画となっており、当初の計画に対しては順調に推移しております。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### 学習塾事業

学習塾事業につきましては、独自の意欲喚起教育EMSの展開と成績向上に柱をおいた指導に加え、ICTを活用した教育サービスの推進、更に軽量型個別指導校を中心とした新規4校の設備増強を行ってまいりましたが、前期末3月の新規入学生の減少が、期初の生徒数に影響を与え、第1四半期末生徒数は19,561名(前年同期比8.0%減)となり、売上高は15億12百万円(前年同期比7.4%減)となりました。

#### 高校・キャリア支援事業

高校・キャリア支援事業につきましては、「第一学院高等学校」による地域全体を「学校」ととらえた教育(コミュニティ共育)として、地域社会に密着した体験型実学教育(ボランティア活動・農作業などの体験学習・地域の職場見学・地元の名所等の宣伝発信の取組み・地域の社会人講師による特別授業等)を取り入れ、差別化を図っております。また、校舎の減床・移転に関しては、統合を含む移転2校を実施してまいりました。生徒数に関しましては、第1四半期末生徒数は6,609名(前年同期比5.7%減)となり、売上高は9億22百万円(前年同期比15.2%減)となりました。

#### その他

その他につきましては主に、能力開発事業、企業内研修ポータルサイト・コンテンツ開発販売事業、デジタル教育サービス事業及び広告事業等に係る業績を計上しており、売上高は4億29百万円(前年同期比0.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1.8%増加し、39億56百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1億58百万円、その他に含まれる繰延税金資産が2億75百万円増加し、授業料等未収入金が3億58百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.6%減少し、94億61百万円となりました。これは主に、投資有価証券が31百万円、敷金及び保証金が69百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて0.6%減少し、134億17百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3.1%増加し、61億10百万円となりました。これは主に、短期借入金が10億25百万円増加し、支払手形及び買掛金が2億3百万円、前受金が4億96百万円、賞与引当金が1億17百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて8.7%増加し、35億18百万円となりました。これは主に、社債が2億76百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて5.1%増加し、96億29百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて12.5%減少し、37億87百万円となりました。これは主に、利益剰余金が5億40百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月10日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在入手している情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績はさまざまな要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,640,375	2,799,200
受取手形及び売掛金	149,838	187,594
授業料等未収入金	446,960	88,388
教材	86,101	69,638
商品及び製品	23,163	24,232
原材料及び貯蔵品	22,765	17,597
その他	572,979	824,612
貸倒引当金	57,131	55,127
流動資産合計	3,885,054	3,956,136
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,365,014	3,377,571
その他(純額)	1,357,622	1,320,508
有形固定資産合計	4,722,636	4,698,080
無形固定資産		
のれん	12,674	11,882
その他	514,809	507,125
無形固定資産合計	527,483	519,007
投資その他の資産		
投資有価証券	1,367,537	1,336,163
敷金及び保証金	1,476,739	1,407,356
その他	1,710,854	1,696,104
貸倒引当金	194,441	195,312
投資その他の資産合計	4,360,690	4,244,312
固定資産合計	9,610,810	9,461,400
資産合計	13,495,864	13,417,536
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	353,352	149,509
短期借入金	1,709,684	2,735,250
1年内償還予定の社債	208,000	278,000
1年内返済予定の長期借入金	399,013	399,279
未払法人税等	142,990	55,132
前受金	1,869,819	1,373,772
賞与引当金	191,511	73,974
その他	1,053,675	1,045,911
流動負債合計	5,928,045	6,110,830

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>固定負債</b>		
社債	231,000	507,000
長期借入金	852,042	874,780
退職給付引当金	1,020,483	1,029,028
役員退職慰労引当金	385,131	389,459
資産除去債務	542,305	528,041
その他	206,858	190,414
固定負債合計	3,237,822	3,518,723
<b>負債合計</b>	<b>9,165,868</b>	<b>9,629,553</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,299,375	1,299,375
資本剰余金	1,517,213	1,517,213
利益剰余金	1,880,393	1,340,278
自己株式	145,779	145,779
株主資本合計	4,551,202	4,011,087
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	199,746	205,475
土地再評価差額金	649,568	649,568
その他の包括利益累計額合計	449,821	444,092
少数株主持分	228,614	220,988
純資産合計	4,329,996	3,787,983
<b>負債純資産合計</b>	<b>13,495,864</b>	<b>13,417,536</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	3,153,069	2,864,548
売上原価	2,979,192	2,777,625
売上総利益	173,876	86,923
販売費及び一般管理費	777,166	739,554
営業損失( )	603,289	652,631
営業外収益		
受取利息	1,416	1,255
受取配当金	13,965	8,182
受取手数料	3,806	3,991
その他	5,262	5,020
営業外収益合計	24,450	18,451
営業外費用		
支払利息	9,157	9,849
貸倒引当金繰入額	6,080	-
開業費償却	7,816	-
社債発行費	-	6,282
持分法による投資損失	753	3,367
その他	3,732	1,095
営業外費用合計	27,539	20,594
経常損失( )	606,379	654,774
特別利益		
投資有価証券売却益	262,078	-
その他	8,807	-
特別利益合計	270,886	-
特別損失		
固定資産除却損	5,386	6,762
段階取得に係る差損	12,703	-
投資有価証券評価損	390	-
減損損失	579	2,651
特別損失合計	19,060	9,414
税金等調整前四半期純損失( )	354,553	664,189
法人税、住民税及び事業税	46,813	45,301
法人税等調整額	165,757	254,777
法人税等合計	118,943	209,475
少数株主損益調整前四半期純損失( )	235,610	454,714
少数株主利益又は少数株主損失( )	17,604	1,426
四半期純損失( )	253,214	453,287

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失( )	235,610	454,714
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	148,998	5,728
その他の包括利益合計	148,998	5,728
四半期包括利益	384,608	448,985
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	402,213	447,559
少数株主に係る四半期包括利益	17,604	1,426

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	学習塾事業	高校・キャリア支援事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,633,139	1,087,988	2,721,128	431,940	3,153,069	-	3,153,069
セグメント間の内部 売上高又は振替高	92	-	92	234,553	234,645	234,645	-
計	1,633,232	1,087,988	2,721,221	666,493	3,387,715	234,645	3,153,069
セグメント利益又は 損失( )	227,182	76,462	303,644	38,497	265,146	338,143	603,289

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、能力開発事業及び企業内研修ポータルサイト・コンテンツ開発販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失( )の調整額 338,143千円には、セグメント間取引消去1,064千円、のれん償却額 19,187千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 320,021千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	学習塾事業	高校・キャリア支援事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,512,531	922,698	2,435,229	429,318	2,864,548	-	2,864,548
セグメント間の内部 売上高又は振替高	51	-	51	189,570	189,621	189,621	-
計	1,512,582	922,698	2,435,280	618,888	3,054,169	189,621	2,864,548
セグメント利益又は 損失( )	245,689	146,062	391,752	31,444	360,307	292,323	652,631

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、能力開発事業、企業内研修ポータルサイト・コンテンツ開発販売事業、デジタル教育サービス事業及び広告事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失( )の調整額 292,323千円には、セグメント間取引消去2,790千円、のれん償却額 792千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 294,321千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。